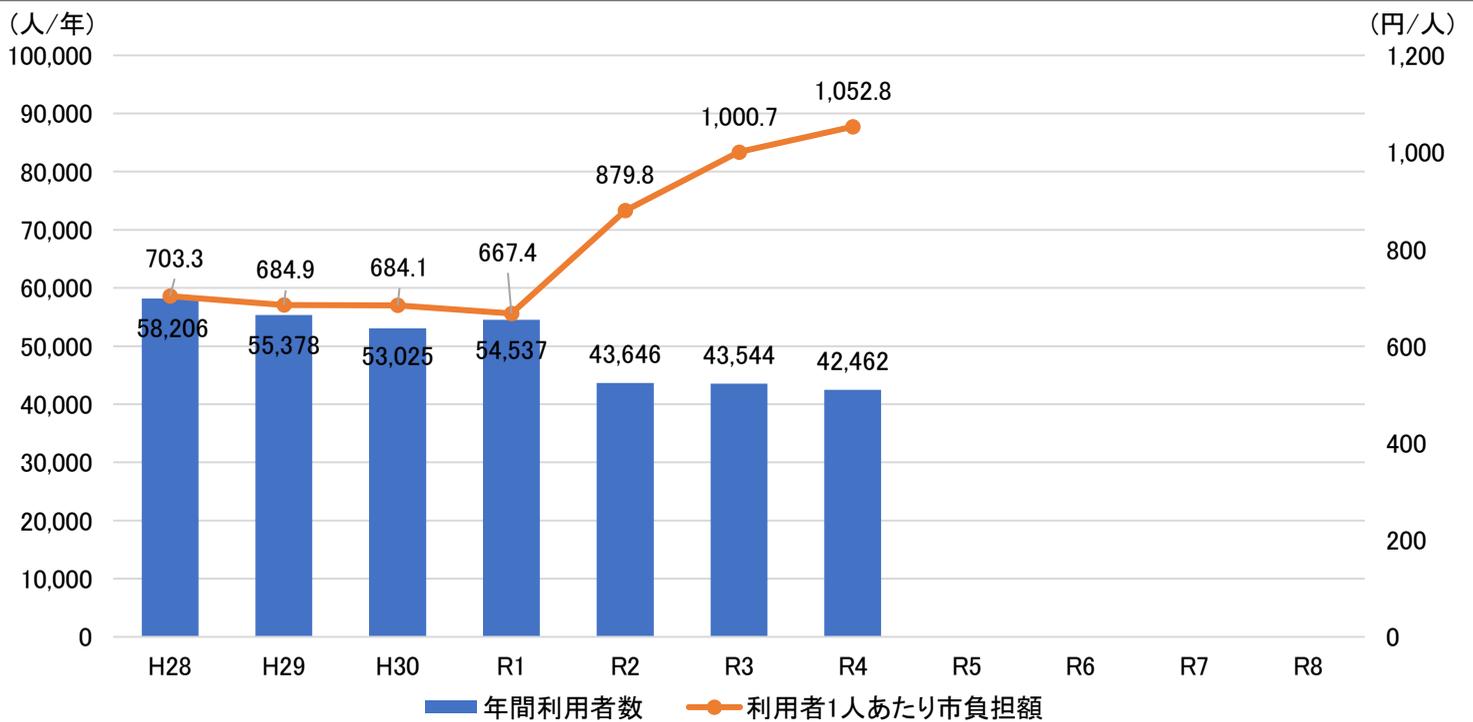


	年間利用者数 (人/年)	便あたり利用 者数 (人/便)	利用者1人あ たり市負担額 (円/人)	収支率 (%)	運行経費 (円/年)	経常収入 (円/年)	市負担額 (円/年)
H28	58,206	13.3	703.3	13.3	54,537,490	7,272,304	40,939,000
H29	55,378	12.7	684.9	13.7	51,535,018	7,066,086	37,926,000
H30	53,025	12.1	684.1	13.3	50,988,151	6,768,363	36,277,000
R1	54,537	12.5	667.4	13.7	51,478,746	7,049,765	36,398,000
R2	43,646	10.0	879.8	11.4	52,887,870	6,010,727	38,398,000
R3	43,544	10.0	1,000.7	10.4	59,518,339	6,200,537	43,573,000
R4	42,462	9.7	1,052.8	9.9	60,751,157	6,032,595	44,703,000
R5	0	0	0	0	0	0	0
R6	0	0	0	0	0	0	0
R7	0	0	0	0	0	0	0
R8	0	0	0	0	0	0	0

年間利用者数・利用者1人あたり市負担額の推移



路線に関する取り組み

- ・市街地病院循環線の廃止に伴い、関中央病院を経由する路線再編を実施 (R2.10)
- ・桜ヶ丘バス停留所を移設し関高校口・桜ヶ丘に名称変更 (R2.10)
- ・関高校生下校時間に合わせてダイヤ調整 (R4.4)

利用者数等の変化に対する分析

- ・関高校、山県高校などの通学や沿線企業への通勤利用者が多く、住民の生活の足として定着している。
- ・対前年比2.5%減となった。全路線で唯一対前年比で減少した。
- ・前年と比較して、通学・通院利用者は前年より増加しているが、福祉施設利用者の利用控えによる影響が出た。

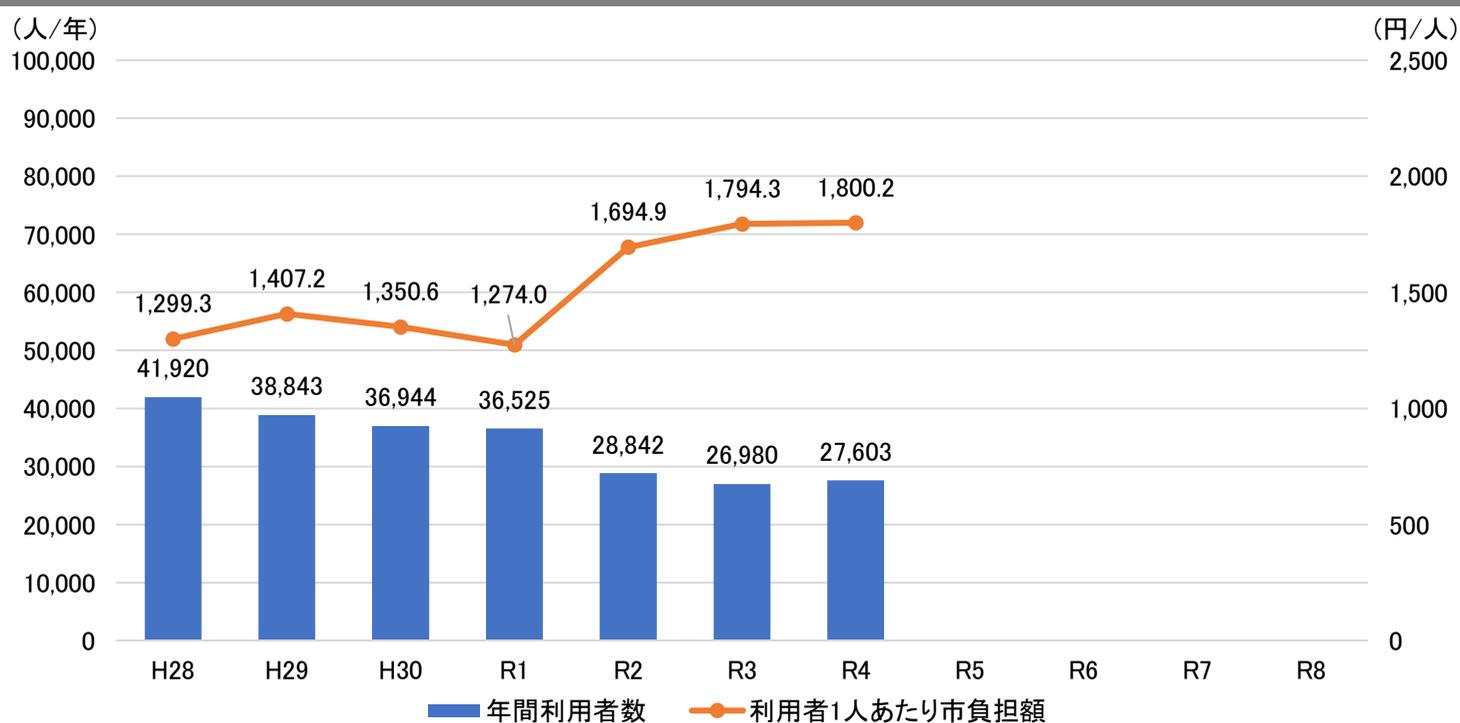
次年度以降の対応方針

- ・学生利用者もあるため、アンケート調査等でニーズを把握し、必要に応じてダイヤ改正を検討していく

関上之保線

	年間利用者数 (人/年)	便あたり利用者数 (人/便)	利用者1人あたり市負担額 (円/人)	収支率 (%)	運行経費 (円/年)	経常収入 (円/年)	市負担額 (円/年)
H28	41,920	6.9	1,299.3	8.3	69,020,128	5,703,416	54,468,500
H29	38,843	6.4	1,407.2	7.6	69,495,375	5,293,759	54,660,000
H30	36,944	6.1	1,350.6	7.3	64,781,316	4,715,794	49,896,000
R1	36,525	6.6	1,274.0	7.2	61,027,025	4,372,647	46,531,500
R2	28,842	5.2	1,694.9	6.2	63,157,736	3,889,186	48,885,000
R3	26,980	4.8	1,794.3	5.6	62,425,789	3,493,338	48,411,000
R4	27,603	4.9	1,800.2	5.9	64,411,487	3,822,208	49,692,000
R5	0	0	0	0	0	0	0
R6	0	0	0	0	0	0	0
R7	0	0	0	0	0	0	0
R8	0	0	0	0	0	0	0

年間利用者数・利用者1人あたり市負担額の推移



路線に関する取り組み

- ・上之保・関商工線運行開始 (H30.4)
- ・最終バス停を川合車庫から上之保事務所へ変更 (R2.10)
- ・西町バス停を移設 (R4.10)

利用者数等の変化に対する分析

- ・高校直行便で高校生の通学や市街地への通院・買い物の足として活用されている。
- ・前年と比較して、通勤・通学・買い物利用と思われる利用者が増加した。
- ・コロナ禍の影響による外出控えが緩和されてきたため、武儀生涯学習センターや武儀事務所等公共施設への利用が増加し

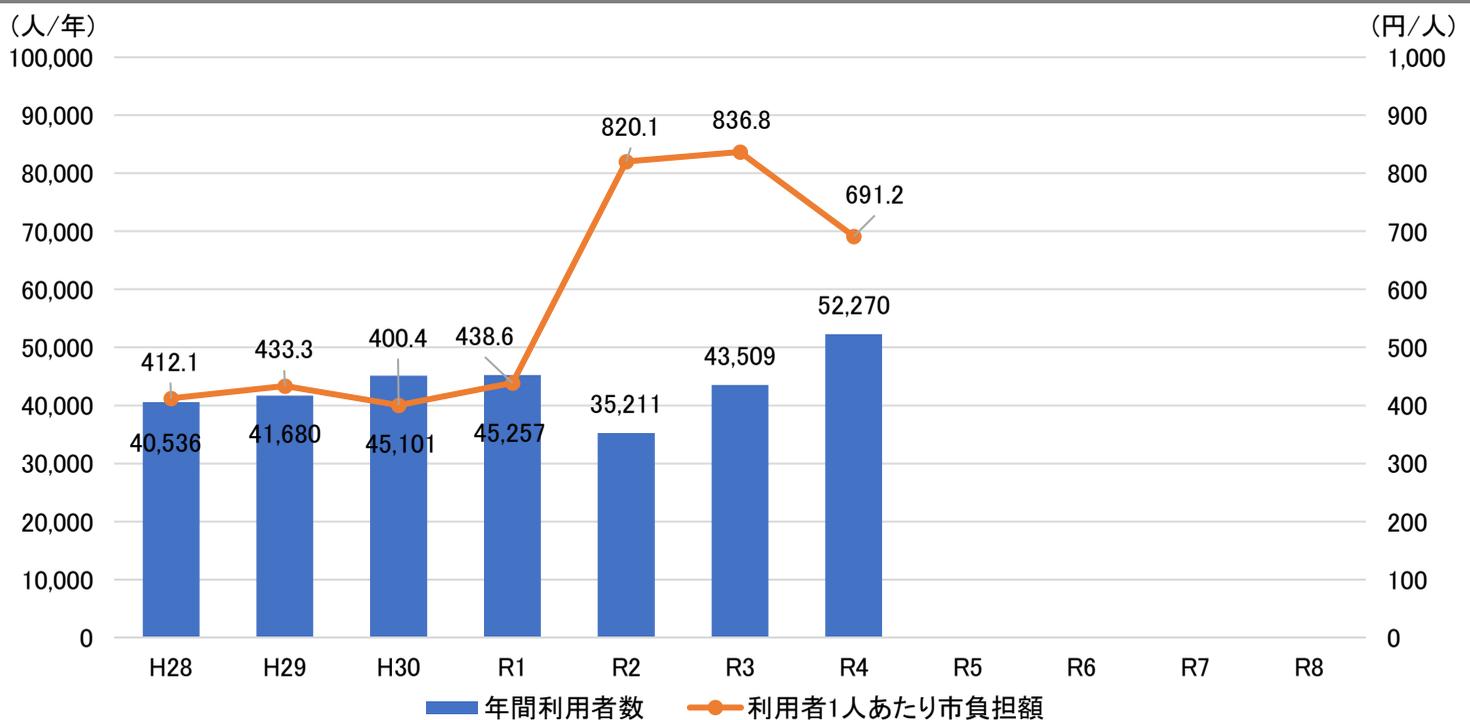
次年度以降の方針・取り組み

- ・学生利用状況を注視しながら、必要に応じてダイヤ改正等を検討していく

買い物循環線

	年間利用者数 (人/年)	便あたり利用者数 (人/便)	利用者1人あたり市負担額 (円/人)	収支率 (%)	運行経費 (円/年)	経常収入 (円/年)	市負担額 (円/年)
H28	40,536	7.5	412.1	15.6	23,986,984	3,753,055	16,703,000
H29	41,680	7.7	433.3	15.7	23,926,000	3,758,245	18,059,000
H30	45,101	8.4	400.4	16.3	24,748,165	4,031,281	18,058,000
R1	45,257	8.4	438.6	16.5	25,655,580	4,243,272	19,849,000
R2	35,211	6.5	820.1	9.9	32,054,788	3,189,333	28,876,000
R3	43,509	6.0	836.8	9.7	40,319,640	3,910,855	36,408,000
R4	52,270	7.3	691.2	11.0	40,602,186	4,474,050	36,128,000
R5	0	0	0	0	0	0	0
R6	0	0	0	0	0	0	0
R7	0	0	0	0	0	0	0
R8	0	0	0	0	0	0	0

年間利用者数・利用者1人あたり市負担額の推移



路線に関する取り組み

- ・1時間に1本の割合で運行できるよう増便 (R2.10)
- ・西町バス停を移設 (R4.10)
- ・乗継証明書発行サービス開始 (R2.10)
- ・停留所名を刃物会館前からせきてらす前へ変更 (R4.3)

利用者数等の変化に対する分析

- ・マーゴ、バロー及びゲンキーなどの買い物利用者や通院利用者が多い
- ・路線再編以降、順調に利用者数を伸ばし、対前年度比20%増となった。8月は花火大会等イベント利用者と思われる利用者の増加が目立った。

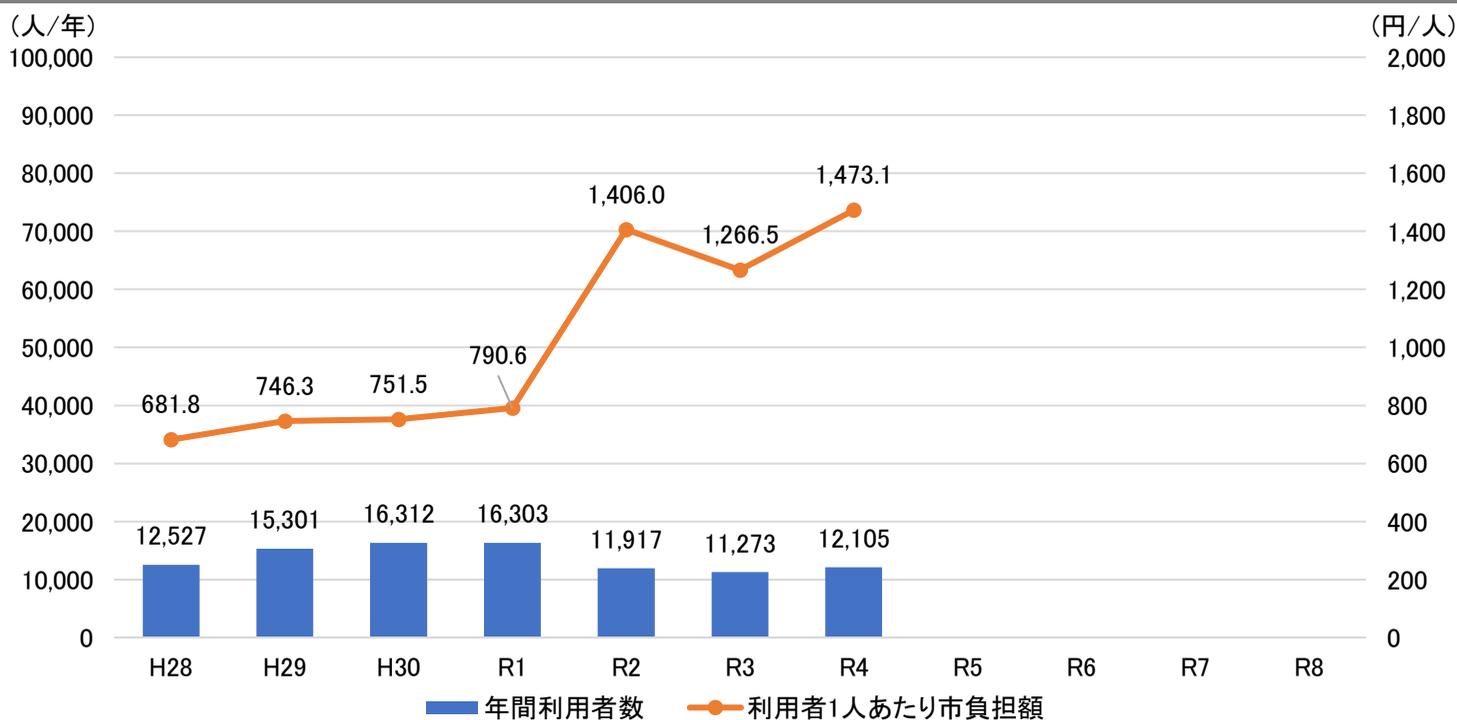
次年度以降の方針・取り組み

- ・市街地利用者の更なる利用促進を図る

わかくさ・小金田線

	年間利用者数 (人/年)	便あたり利用者数 (人/便)	利用者1人あたり市負担額 (円/人)	収支率 (%)	運行経費 (円/年)	経常収入 (円/年)	市負担額 (円/年)
H28	12,527	8.7	681.8	9.8	11,400,480	1,114,040	8,541,000
H29	15,301	8.5	746.3	9.4	14,212,016	1,329,282	11,419,000
H30	16,312	9.1	751.5	8.8	15,832,550	1,395,853	12,259,000
R1	16,303	9.1	790.6	8.4	16,556,400	1,390,607	12,889,000
R2	11,917	6.6	1,406.0	4.9	20,741,885	1,026,135	16,755,000
R3	11,273	6.2	1,266.5	4.5	21,614,014	980,218	14,277,000
R4	12,105	6.7	1,473.1	4.9	21,694,269	1,070,336	17,832,000
R5	0	0	0	0	0	0	0
R6	0	0	0	0	0	0	0
R7	0	0	0	0	0	0	0
R8	0	0	0	0	0	0	0

年間利用者数・利用者1人あたり市負担額の推移



路線に関する取り組み

- ・小金田診療所、下倉知中バス乗降所新設 (R2.10)

利用者数等の変化に対する分析

- ・津保川台や虹ヶ丘などの団地と、マーゴやベイシアなどの商業施設を結ぶ住民の生活の足として機能している。
- ・対前年比7.4%増となった。通院・通学・通勤・買い物目的の利用客は前年より増加している。
- ・コロナ禍前の状況までは利用者数が戻りきっていない。

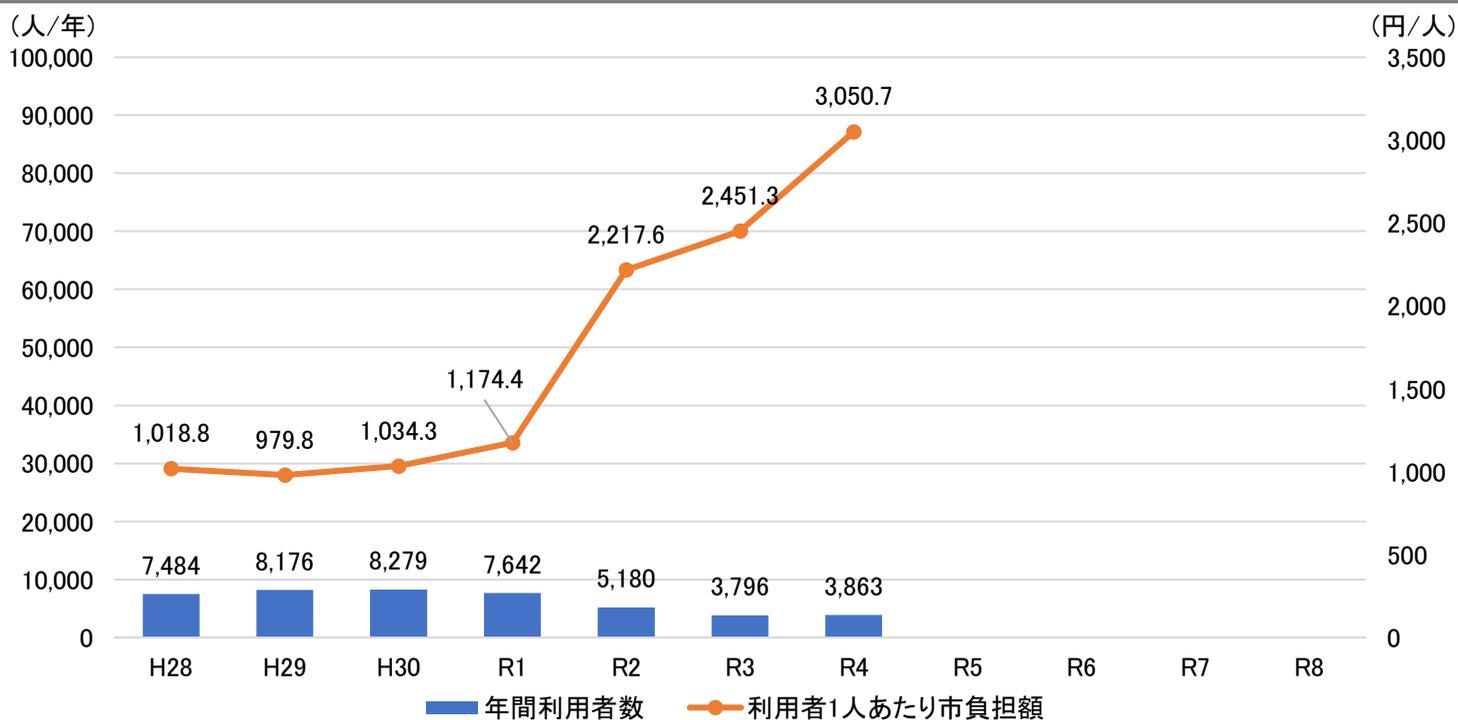
次年度以降の方針・取り組み

- ・ニーズを把握しながら必要に応じてダイヤ改正等を検討する

わかくさ・千疋線

	年間利用者数 (人/年)	便あたり利用者数 (人/便)	利用者1人あたり市負担額 (円/人)	収支率 (%)	運行経費 (円/年)	経常収入 (円/年)	市負担額 (円/年)
H28	7,484	4.1	1,018.8	7.2	9,865,408	711,712	7,625,000
H29	8,176	4.5	979.8	8.1	9,833,376	791,833	8,011,000
H30	8,279	4.6	1,034.3	6.8	10,782,374	735,175	8,563,000
R1	7,642	4.2	1,174.4	6.0	11,193,600	676,659	8,975,000
R2	5,180	2.9	2,217.6	3.3	13,986,960	467,549	11,487,000
R3	3,796	2.1	2,451.3	2.8	13,831,128	383,684	9,305,000
R4	3,863	2.1	3,050.7	3.1	14,024,963	435,622	11,785,000
R5	0	0	0	0	0	0	0
R6	0	0	0	0	0	0	0
R7	0	0	0	0	0	0	0
R8	0	0	0	0	0	0	0

年間利用者数・利用者1人あたり市負担額の推移



路線に関する取り組み

利用者数等の変化に対する分析

- ・ 国道248号線沿いの他、太平台及び千疋などの住民が買い物や通院に利用する生活の足として機能している。
- ・ 対前年比1.8%増となった。定期路線バスでは一番利用者が少ない。
- ・ 増加に転じた時期が他路線よりも遅く、高齢者の外出控えの影響が出ているのではないかと考察する。

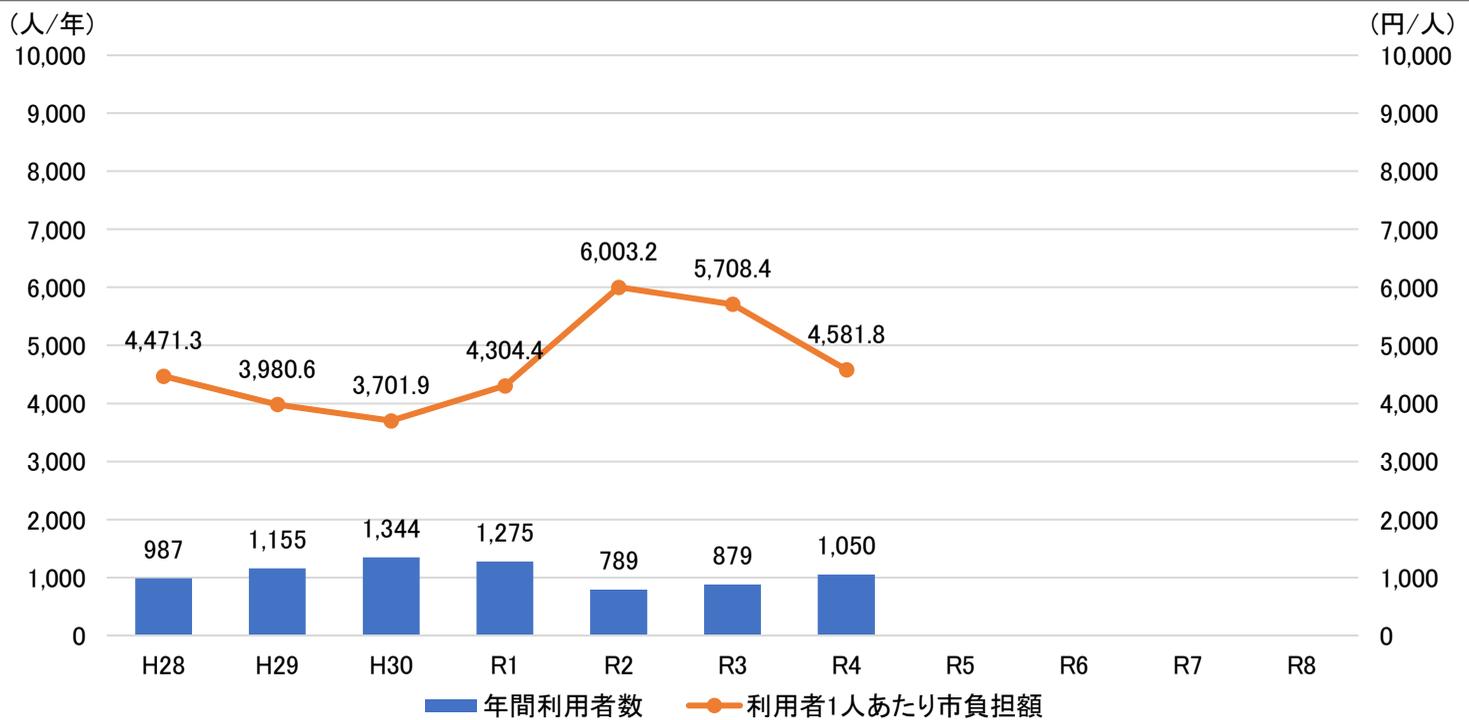
次年度以降の方針・取り組み

- ・ 今後の利用状況を注視し、他の輸送モードへの転換も視野に検討していく

わかくさ・富野線

	年間利用者数 (人/年)	便あたり利用者数 (人/便)	利用者1人あたり市負担額 (円/人)	収支率 (%)	運行経費 (円/年)	経常収入 (円/年)	市負担額 (円/年)
H28	987	1.3	4,471.3	3.0	4,680,127	141,408	4,413,127
H29	1,155	1.4	3,980.6	3.2	5,068,222	164,677	4,597,545
H30	1,344	1.4	3,701.9	3.3	5,532,012	180,609	4,975,403
R1	1,275	1.3	4,304.4	3.5	6,080,499	211,347	5,488,152
R2	789	1.2	6,003.2	2.7	5,142,060	138,632	4,736,528
R3	879	1.1	5,708.4	2.7	5,744,512	157,511	5,017,701
R4	1,050	1.2	4,581.8	3.4	5,395,097	182,180	4,810,917
R5	0	0	0	0	0	0	0
R6	0	0	0	0	0	0	0
R7	0	0	0	0	0	0	0
R8	0	0	0	0	0	0	0

年間利用者数・利用者1人あたり市負担額の推移



路線に関する取り組み

- ・ 中屋敷集会所乗降所新設 (R2.4)

利用者数等の変化に対する分析

- ・ 「小野下」や「藤谷」などで定期利用者を確保できている。
- ・ シティターミナル、市役所、わかくさ・プラザなどの施設利用が増加した。
- ・ コロナ禍以降、徐々に利用者は回復傾向にある。

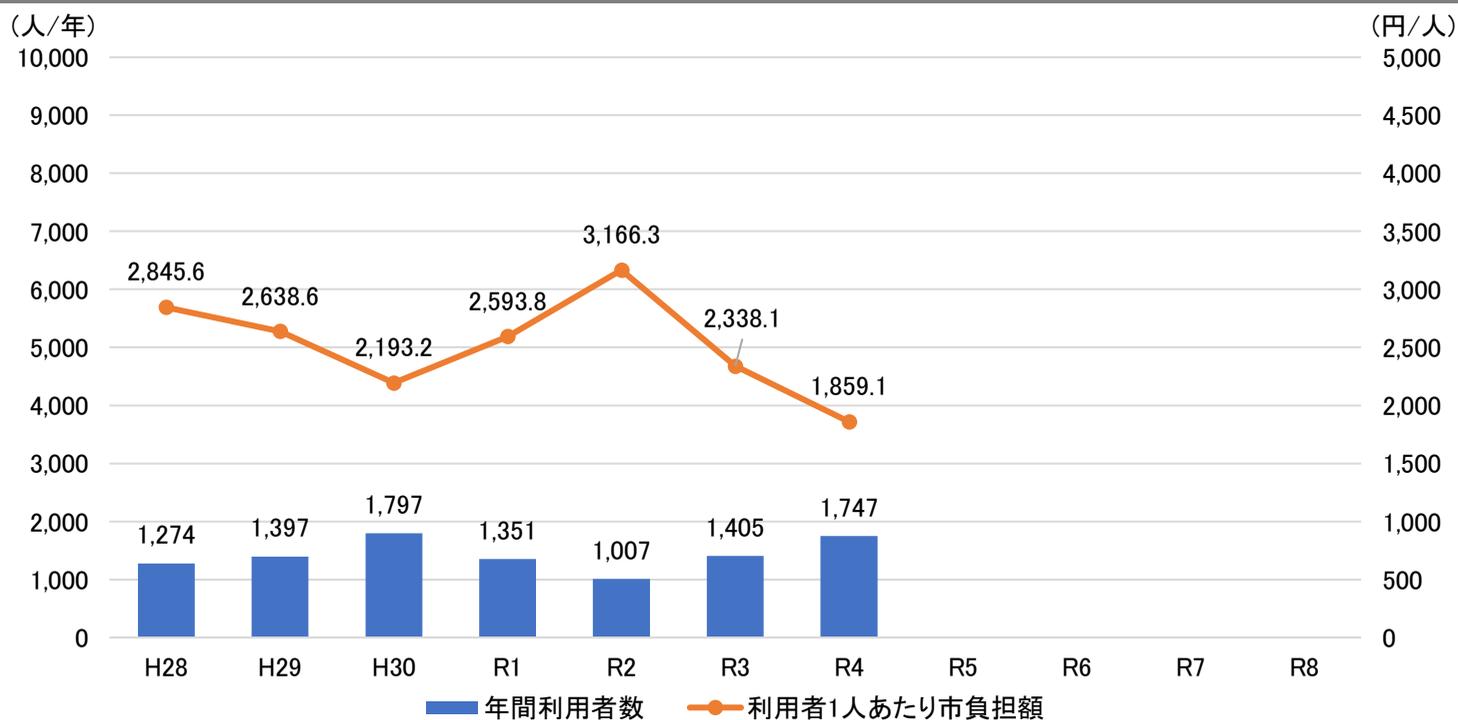
次年度以降の方針・取り組み

- ・ 今後の利用状況を注視し、他の輸送モードへの転換も視野に検討していく

わかくさ・田原線

	年間利用者数 (人/年)	便あたり利用者数 (人/便)	利用者1人あたり市負担額 (円/人)	収支率 (%)	運行経費 (円/年)	経常収入 (円/年)	市負担額 (円/年)
H28	1,274	1.7	2,845.6	3.0	3,844,285	116,264	3,625,285
H29	1,397	1.8	2,638.6	3.3	4,065,256	133,062	3,686,194
H30	1,797	2.1	2,193.2	3.3	4,382,169	144,025	3,941,144
R1	1,351	1.8	2,593.8	3.5	3,881,874	134,591	3,504,283
R2	1,007	1.7	3,166.3	2.7	3,461,501	95,070	3,188,431
R3	1,405	2.2	2,338.1	2.8	3,618,699	100,887	3,285,012
R4	1,747	2.3	1,859.1	3.5	3,646,509	126,576	3,247,933
R5	0	0	0	0	0	0	0
R6	0	0	0	0	0	0	0
R7	0	0	0	0	0	0	0
R8	0	0	0	0	0	0	0

年間利用者数・利用者1人あたり市負担額の推移



路線に関する取り組み

- ・ふる里農園美の関乗降所新設 (R3.4)

利用者数等の変化に対する分析

- ・駅や学校への通学その他、買い物などで一定の利用者を確保し、増加傾向にある。
- ・買い物利用や専門学校への通学利用者が多く、コロナ禍以前より利用者が増加してきている。

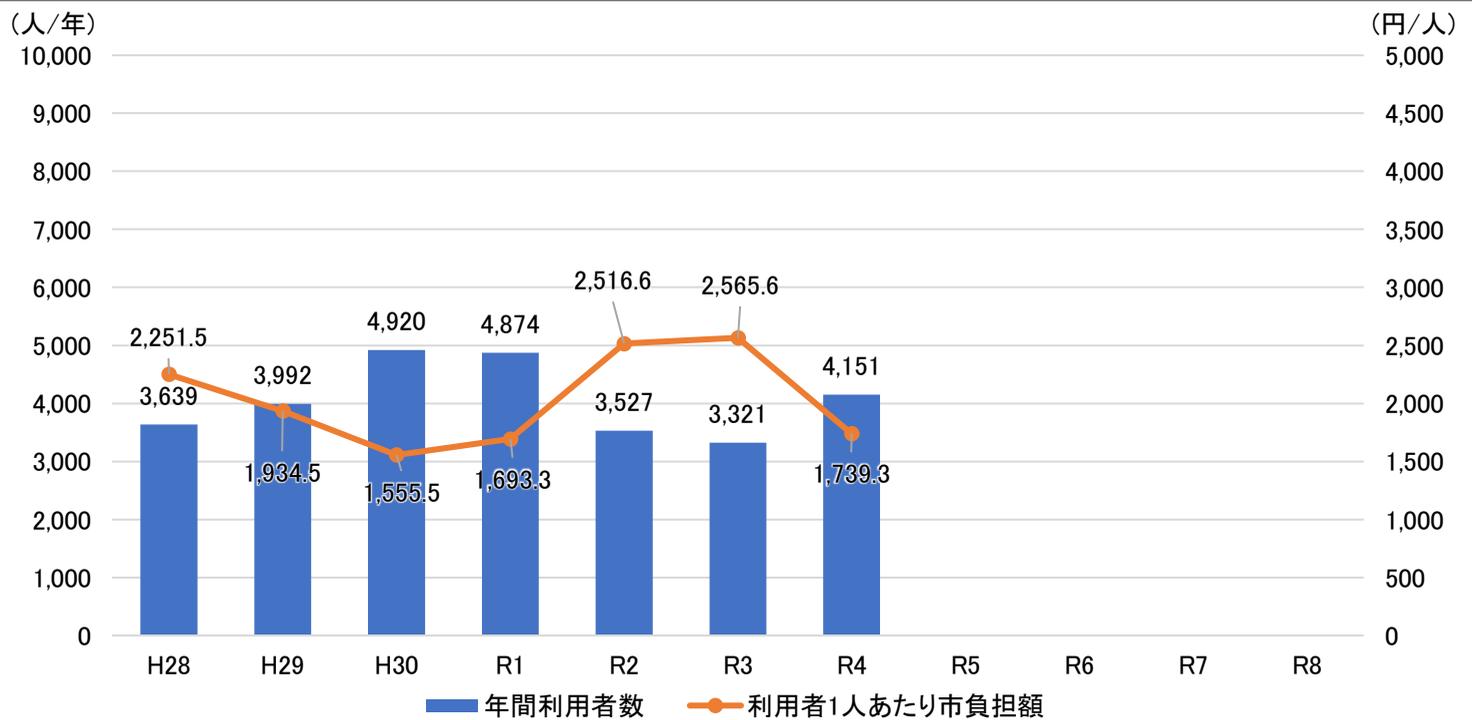
次年度以降の方針・取り組み

- ・ニーズを把握しながら必要に応じてダイヤ改正等を検討する

わかくさ・迫間線

	年間利用者数 (人/年)	便あたり利用者数 (人/便)	利用者1人あたり市負担額 (円/人)	収支率 (%)	運行経費 (円/年)	経常収入 (円/年)	市負担額 (円/年)
H28	3,639	2.2	2,251.5	3.0	8,689,212	262,899	8,193,212
H29	3,992	2.4	1,934.5	3.2	8,513,201	276,503	7,722,698
H30	4,920	2.7	1,555.5	3.3	8,507,935	276,981	7,652,954
R1	4,874	2.6	1,693.3	3.5	9,145,088	318,795	8,253,293
R2	3,527	2.1	2,516.6	2.7	9,631,734	259,554	8,875,880
R3	3,321	2.1	2,565.6	2.8	9,382,690	259,007	8,520,283
R4	4,151	2.2	1,739.3	4.0	8,150,230	323,231	7,219,999
R5	0	0	0	0	0	0	0
R6	0	0	0	0	0	0	0
R7	0	0	0	0	0	0	0
R8	0	0	0	0	0	0	0

年間利用者数・利用者1人あたり市負担額の推移



路線に関する取り組み

- ・大岩不動口乗降所を新設 (R1.10)
- ・エクセレントハイツ乗降所を新設 (R4.8)

利用者数等の変化に対する分析

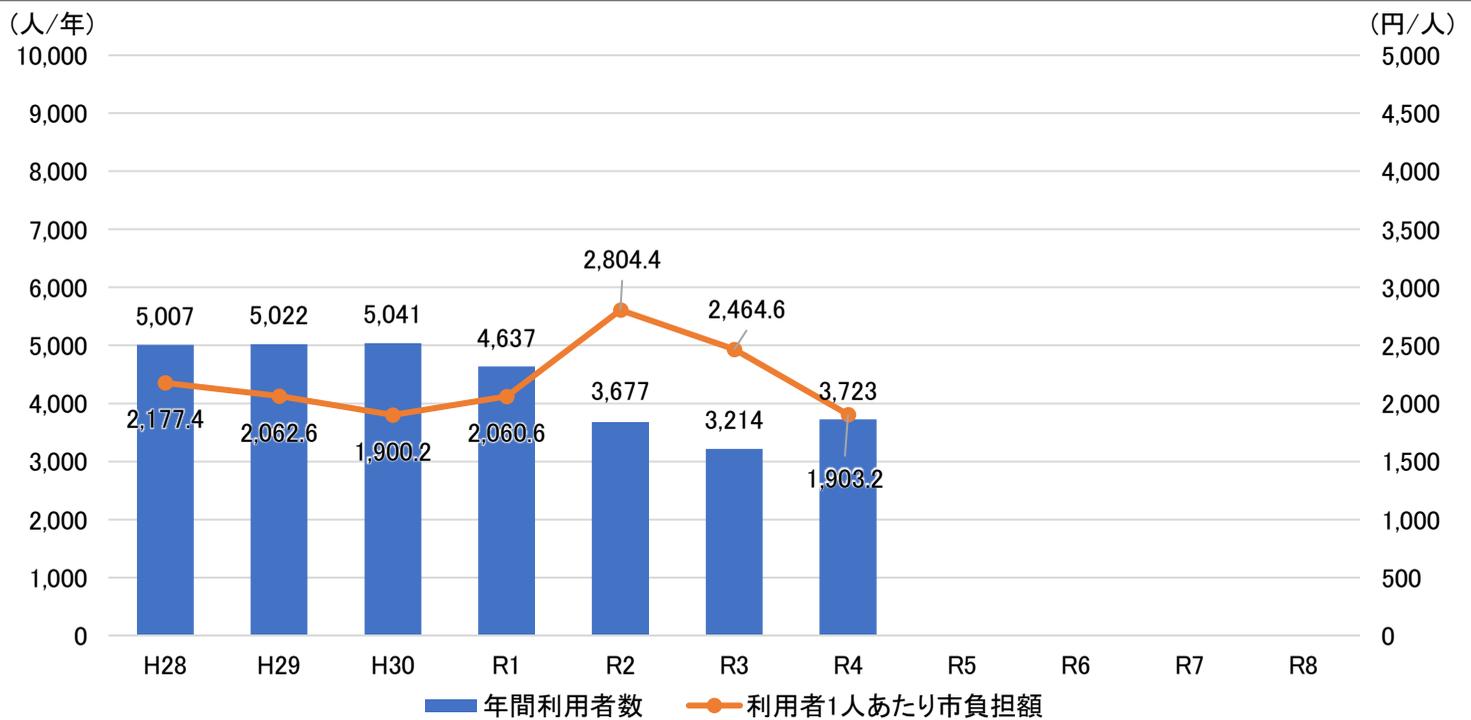
- ・迫間台や桜台・稲口などの団地の住民や通院利用による一定の利用者数が確保している
- ・通院、買い物、公共施設利用者が増加している。
- ・桜台や小迫間の利用者が回復傾向にあり、デマンドバスでは一番利用者数が回復した。

次年度以降の方針・取り組み

わかくさ・向山線

	年間利用者数 (人/年)	便あたり利用者数 (人/便)	利用者1人あたり市負担額 (円/人)	収支率 (%)	運行経費 (円/年)	経常収入 (円/年)	市負担額 (円/年)
H28	5,007	3.0	2,177.4	3.0	11,562,356	349,829	10,902,356
H29	5,022	3.0	2,062.6	3.3	11,421,301	372,158	10,358,143
H30	5,041	3.1	1,900.2	3.3	10,652,364	351,285	9,579,079
R1	4,637	2.8	2,060.6	3.5	10,586,719	367,867	9,554,852
R2	3,677	2.3	2,804.4	2.7	11,191,256	302,495	10,311,861
R3	3,214	2.2	2,464.6	2.8	8,722,344	240,695	7,921,249
R4	3,723	2.4	1,903.2	3.5	7,959,172	279,465	7,085,707
R5	0	0	0	0	0	0	0
R6	0	0	0	0	0	0	0
R7	0	0	0	0	0	0	0
R8	0	0	0	0	0	0	0

年間利用者数・利用者1人あたり市負担額の推移



路線に関する取り組み

- ・今峰クリニック前乗降所新設 (R3.4)

利用者数等の変化に対する分析

- ・向山を中心とした団地と買い物や作業所への通勤で一定の利用者を確保
- ・商業施設やシティターミナル利用者数が増加傾向にあり、コロナ禍前の状況に戻つつある。

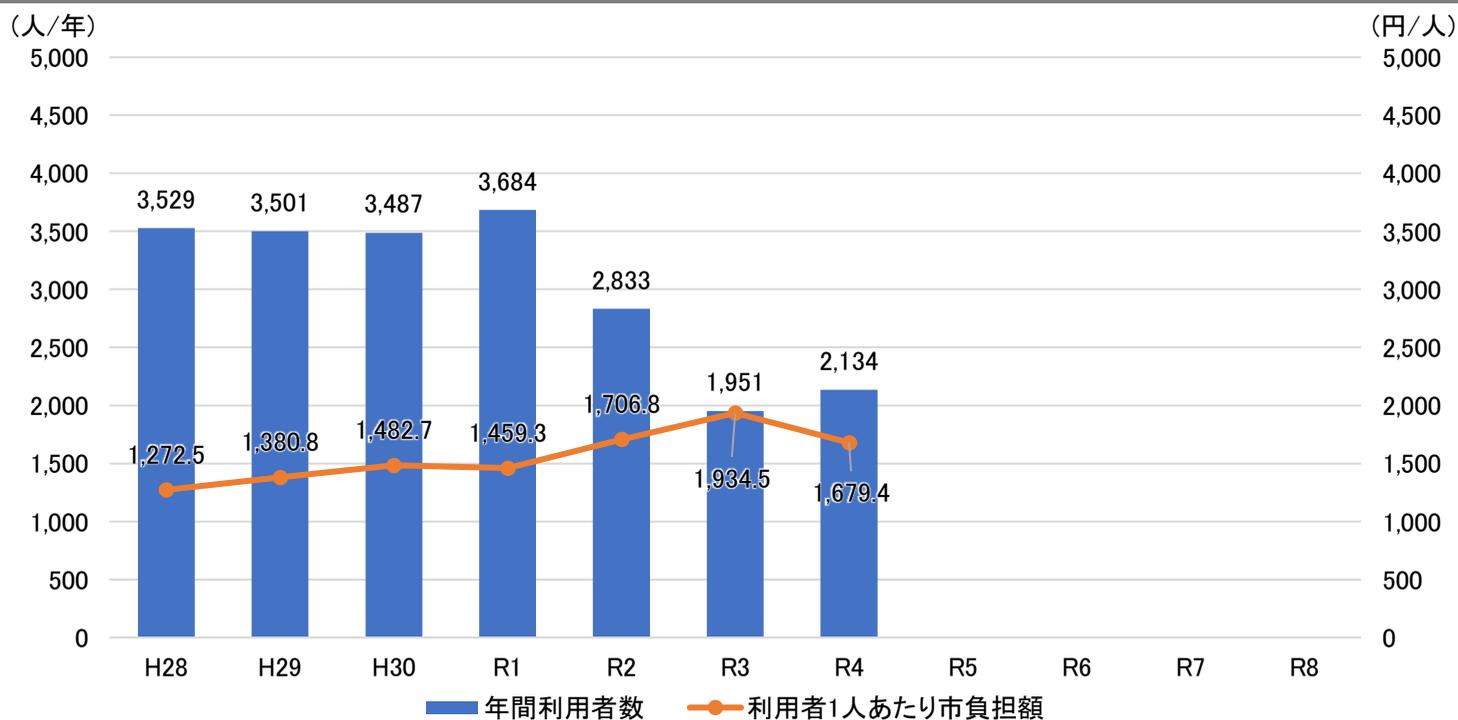
次年度以降の方針・取り組み

- ・ニーズを把握しながら必要に応じてダイヤ改正等を検討する

関市デマンド乗合タクシー 下有知地区

	年間利用者数 (人/年)	便あたり利用者数 (人/便)	利用者1人あたり市負担額 (円/人)	収支率 (%)	運行経費 (円/年)	経常収入 (円/年)	市負担額 (円/年)
H28	3,529	1.5	1,272.5	16.9	5,657,993	956,400	4,490,593
H29	3,501	1.5	1,380.8	15.7	6,271,842	984,780	4,834,062
H30	3,487	1.4	1,482.7	13.8	6,548,391	904,050	5,170,341
R1	3,684	1.4	1,459.3	14.0	6,833,147	959,250	5,375,897
R2	2,833	1.3	1,706.8	12.1	5,972,457	720,150	4,835,307
R3	1,951	1.2	1,934.5	11.0	4,513,486	495,450	3,774,236
R4	2,134	1.2	1,679.4	12.3	4,478,300	551,550	3,583,750
R5	0	0	0	0	0	0	0
R6	0	0	0	0	0	0	0
R7	0	0	0	0	0	0	0
R8	0	0	0	0	0	0	0

年間利用者数・利用者1人あたり市負担額の推移



路線に関する取り組み

- ・ 上切西乗降所新設 (R2.4)
- ・ 早川医院乗降所新設 (R2.10)

利用者数等の変化に対する分析

- ・ 前年度比9%増。
- ・ 比較的短い距離の移動が前年より増加しており、コロナ禍以前の利用者まで回復していないことから、外出控えが継続されていると考察する。

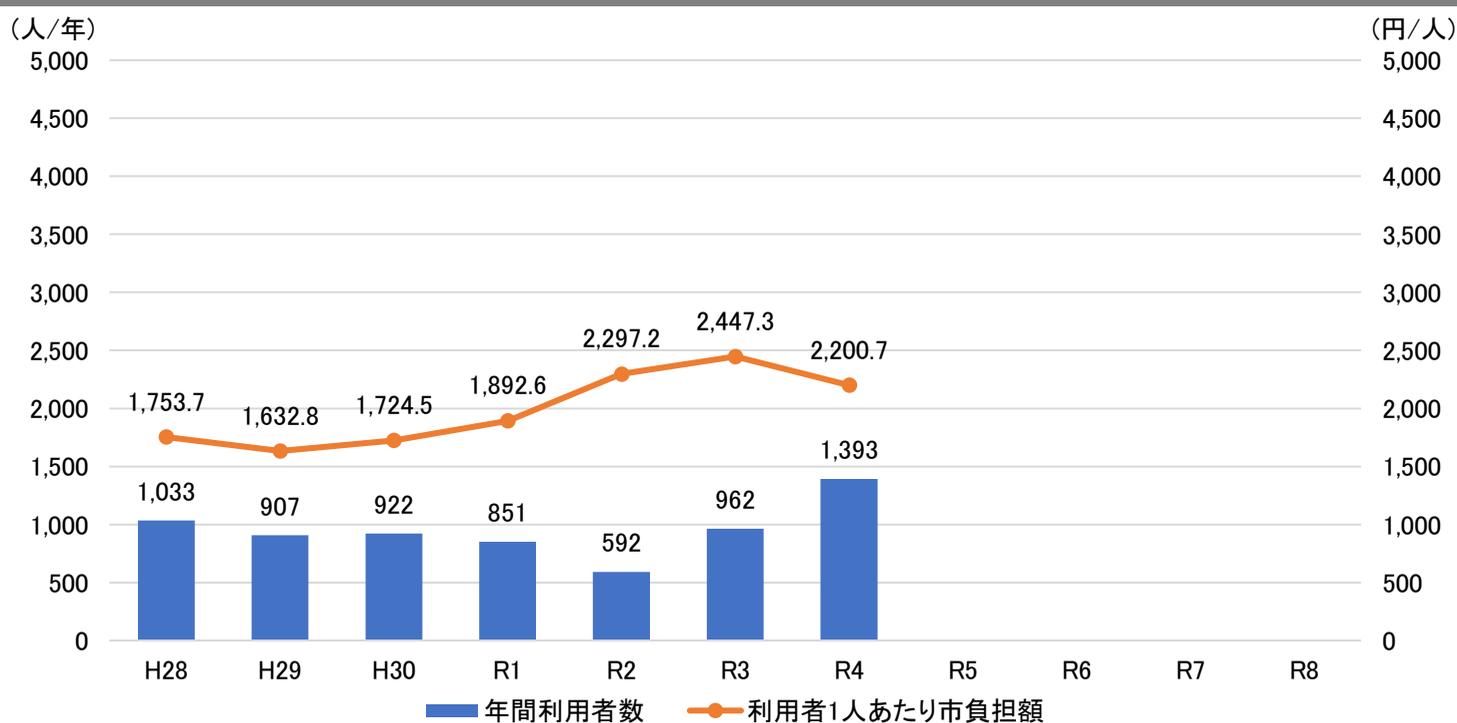
次年度以降の方針・取り組み

- ・ 引き続きデマンドタクシーの周知に努める。

関市デマンド乗合タクシー 瀬尻・広見地区

	年間利用者数 (人/年)	便あたり利用者数 (人/便)	利用者1人あたり市負担額 (円/人)	収支率 (%)	運行経費 (円/年)	経常収入 (円/年)	市負担額 (円/年)
H28	1,033	1.1	1,753.7	11.5	2,135,032	246,450	1,811,582
H29	907	1.2	1,632.8	12.3	1,836,233	225,270	1,480,963
H30	922	1.2	1,724.5	12.1	1,969,169	238,200	1,589,969
R1	851	1.2	1,892.6	11.7	1,986,223	231,600	1,610,623
R2	592	1.1	2,297.2	9.8	1,633,717	159,750	1,359,967
R3	962	1.1	2,447.3	8.5	2,749,448	232,950	2,354,298
R4	1,393	1.1	2,200.7	8.7	3,667,342	319,800	3,065,542
R5	0	0	0	0	0	0	0
R6	0	0	0	0	0	0	0
R7	0	0	0	0	0	0	0
R8	0	0	0	0	0	0	0

年間利用者数・利用者1人あたり市負担額の推移



路線に関する取り組み

- ・池尻区公民館、鮎之瀬ふれあいセンター乗降所を新設 (R1.10)
- ・乗降所移設し名称を小瀬水源地から小瀬鶉飼南駐車場へ変更 (R3.12)

利用者数等の変化に対する分析

- ・前年度比45%増。コロナ禍前よりも利用者が増加しており、運転免許証自主返納者による利用が増加している。

次年度以降の方針・取り組み

- ・引き続きデマンドタクシーの周知に努める。